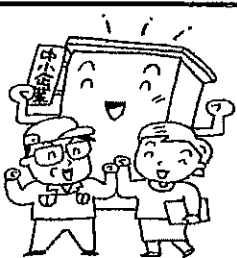


持続化給付金申請相談会
9月28日(月)午後1時半

景気悪化で仕事不足が深刻になっています。今年に入り、前年対比で売上が50%以上落ち込んでいる月があれば対象になりますのでご相談ください。



8月1日の人事異動で、税務署も体制が新たに変わりました。通常年であれば新たな体制の下で税務調査も開始されるのですが、コロナ禍の今年はどうなるのでしょうか。税務のしるべ「9月14日号で関信局局長が次のように述べています。

関信局の栗原新局長に就任インタビュー

8月1日付の人事異動で、関信局局長に就任した栗原毅氏がこのほかに、税のしるべなどとの共同記者会見に出席した。栗原局長は新型コロナウイルスの感染拡大防止が求められる中で、税務調査のあり方も確定申告の対応などについて語った(詳細を電子版に掲載しております)。

「今年度の取組」
税金を教えること。
この一年は、大きく分けて三つの課題がある。
一つ目は、やはりコロナ禍でのように行政を遂行していくこと。
各種手続や相談など、税務署に来られる納税者の方について、「非対面」での対応を可能な限り進めていく。一方で、対面が残る部分については、安心して来署していただけるようにききとちりや感染症対策を行う。

コロナ禍の調査は納税者の状況に即し対応



えは動画を活用するなどより分かりやすい媒体を利用しながら情報をお届けしていきたい。
三つ目は酒類業の発展について。当局管内は全国の日本酒の製造場のうち2割超がある。お酒はそれぞれの地域の歴史や文化、食べ物といった魅力の中の一つで、地域振興とこの面からも酒類業の振興に力を注ぎたい。

地域振興につながる酒類業の発展に注力

必要な感染症対策を行う上で、納税者の皆さんや税理士の方々の状況をよくお伺いし、それに即した対応をしていくことに努める。
来年度の確定申告については、まずe-Taxによる申告をさらに進めていきたい。平成31年1月年からスマホ申告が始まったが、新型コロナウイルスの影響で、納税者の方もできれば来署等をせずに申告したいとお考えの方はいかた思うので、スマホ申告等ができる方には、ぜひチャレンジしていただき。
そうはいっても、申告会場がらうしやる方は大勢いるので、会場ではマスクの着用や消毒、密回避避に努めるなど必要な会場運営をしてい

あの声・この声・つぎは

★姑が手作りのマスクを作ってくれたのはいいのですが、舅の白いブリーフレイメイクして作ったそうで、嫁さんは一度もそのマスク使わないうです。



★蚊がいなくなるという、部屋に一度ワンプッシュするだけのやつ、すくいいですよ。使う様になってから一度も蚊に刺されてません。

★子供を病院に連れて行った時のこと。医者「食欲はありますか」と聞かれ息子は「あ、あ、次第です」と答えました。

★友達(60代)に「ガンで凍ったハーツやBMW、レクサスがいよいよね」といたら「票極車」と返事されました。



★ギックリ腰で整形外科に行きレントゲン撮ったら背骨に影がうつっていました。先生に「ハッキリ云って下さい」と聞いてみたら「腸内のガスだ」といわれました。

★歯医者で「痛いなら手をあげて下さい」といわれたのですが痛いのがマシなだけ足が思わず上がっていました。

★お風呂から上がった時から朝まで息苦しく、何か変な音がササ音があると思われるのは...と思ったり、Tシャツと後逆に着てました。

★今の若い人は「乾杯」を「KP」「お疲れ乾杯」を「おっほい」